

第159～162回指導者のための避妊と性感染症予防セミナー (SRH(セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス)セミナー) ～プレコンセプション・ヘルス・ケアを考える～

後援：公益社団法人日本助産師会

開催趣旨

2019年度はメインテーマを「プレコンセプション・ケアを考える」です。国が発表した「2017年人口動態統計(確定数)の概況」によれば、男性の平均初婚年齢は31.1歳、女性は29.4歳。1985年には男性28.2歳、女性25.5歳でしたから、この30年ほどで男性は2.9歳、女性は3.9歳と晩婚化が進行しています。さらに、第1子出生の母の平均年齢は30.7歳であり、85年に比べて3.7歳ほど晩産化となっています。晩婚化、晩産化は個人の選択の結果であるとはいえ、「産みたいときに産める」という人生設計がともすると狂わされてしまうことになりかねません。

このような時代背景もあって、プレコンセプション・ヘルス・ケア(PHC)は、従来にも増して重要な課題となっています。米国疾病対策センター(CDC)はPHCとは、いずれ子どもを持ちたいと考えている男女に、現在の自身の健康に関心を持ってもらうことを意味しているとしています。それは、また、近い将来生まれるかもしれない子どもの健康を守るだけでなく、子どもを持つか持たないかにかかわらず、全ての男女の健康の保持増進に役立ちます。

今回は、「プレコンセプション・ヘルス・ケアとは」の講義では、PHCで取り上げるべき広範囲にわたる課題について、とりわけ性教育の中でどう扱うかなどをお話しいただいた上で、OC(経口避妊薬)/LEP(低用量エストロゲン・プロゲスチン)製剤の役割、婦人科疾患の予防などを中心にしたセミナーとなっています。皆さんにお会いできることを楽しみにしております。

開催日・会場・定員・講師

回	開催日	会場	定員	講師
159回	10月26日(土)	札幌(TKP ガーデンシティ札幌駅前)	150名	【講義Ⅰ】前田恵理 【講義Ⅱ】北村邦夫 【講義Ⅲ】近藤一成
160回	11月30日(土)	福岡(パピヨン24 ガスホール)	150名	【講義Ⅰ】三戸麻子 【講義Ⅱ】北村邦夫 【講義Ⅲ】蓮尾 豊
161回	12月21日(土)	名古屋(名古屋コンベンションホール)	150名	【講義Ⅰ】伊藤雄二 【講義Ⅱ】北村邦夫 【講義Ⅲ】中西美紗緒
162回	2020年 2月15日(土)	大阪(大阪国際交流センター)	150名	【講義Ⅰ】荒田尚子 【講義Ⅱ】北村邦夫 【講義Ⅲ】上田 豊

受講料：各会場とも5,000円(税別)。思春期保健相談士は、各会場とも3,000円(税別)。

「学校一括申込」の場合、教員・学生とも3,000円(税別)。(専用申込書あり。お持ちでない方はお問い合わせください)

対象者：医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教員、教職員、カウンセラー、他(教育・福祉関係者等)

時間	内容	
9:00～9:40	受付・開会	
9:40～10:50	講義Ⅰ	プレコンセプション・ヘルス・ケアとは
11:00～12:10	講義Ⅱ	OC/LEPがプレコンセプション・ヘルス・ケアに果たす役割とは
13:10～14:20	講義Ⅲ	婦人科疾患の予防とプレコンセプション・ヘルス・ケア
14:35～16:00	質疑応答	プレコンセプション・ヘルス・ケアを考える

※講師及びプログラムが変更となる場合がございます。予めご了承ください。

講師 (五十音順・敬称略)

荒田尚子	国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター 母性内科 診療部長	中西美紗緒	国立国際医療研究センター病院産婦人科 医師
伊藤雄二	地域医療振興協会 総合診療産婦人科養成センター長/ 市立恵那病院副管理者・産婦人科部長	蓮尾 豊	あおもり女性ヘルスケア研究所 所長
上田 豊	大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教室 講師	前田恵理	秋田大学大学院医学系研究科 環境保健学講座 講師
北村邦夫	一般社団法人日本家族計画協会 理事長/ 家族計画研究センター 所長	三戸麻子	国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター 母性内科 医員・慶應義塾大学非常勤講師
近藤一成	NTT東日本関東病院 産婦人科 主任医長		